

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	重度化した利用者の部屋が施設的にならないような工夫を期待したい。	紙おむつやパット類が見えないような収納方法を考える。	職員の使いやすいように紙おむつやパット類を出しっ放しにしたり、用具類を置いたままにせず、その都度片づける。	1週間
2	49	重度化した利用者にも外出の楽しみが提供できるような工夫を期待したい。	外出先の様子を写真やスマートフォンで撮影したり、記念になるようなお土産を持ち帰り、一緒に見ながらその場の雰囲気を楽しんでもらう。	日々の散歩時にも季節の移り変わりを感じる場面の写真を撮影したり、木枝や草花を手折り、利用者の部屋に活けるなどし、四季を感じてもらおう。	1ヶ月
3	11	リーダーとスタッフが時間を取ってゆっくり話し合う場を設けるよう期待する。	2か月に1回のフロアーミーティングを開催する。	定期的にフロアーミーティングを行い、一人一人が発言できる時間を作る。ありきたりなミーティングではなく毎回テーマを決め、踏み込んだ討議をする。	2ヶ月
4	26	現場のスタッフの意見が反映されたプランになるよう期待したい。	プラン作成のためのアセスメント、モニタリング方法をしっかり身に付ける。	誰にでも当てはまる言葉ではなく、利用者の個性を言い表す表現を工夫しケアプランを作成する。	3ヶ月
5	40	スタッフと和やかに会話をしながら食事を楽しめるような工夫に期待したい。	囲みテーブルにして利用者とスタッフが同じものを食べることでより親密な関係を築く。	第二土曜日は「手作りレクリエーション」として、利用者とスタッフが一緒にメニューを考え調理し、手作りのものを食べる。一から調理することで会話も弾み、一体感が生まれる。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。